



平成25年5月20日

周南市長 木村 健一郎 様

徳山駅周辺デザイン会議

会長 篠原 修

新たな駅ビル整備基本構想（素案）の提出について

徳山駅周辺デザイン会議では、これまで4回の会議と2回の地元ワーキングを開催し、現在の徳山駅ビルの解体後に建設される新たな徳山駅ビルの機能等について検討を進めてまいりました。

このたび、本会議が中間的に取りまとめました「新たな駅ビル整備基本構想（素案）」に対する意見募集を実施した結果を踏まえまして、「新たな駅ビル整備基本構想」の素案を別紙のとおり作成しましたので、提出します。

今後は、周南市の核である中心市街地の活性化のため、賑わいと交流を生み出す新たな駅ビルの整備に向けて、市が早期に整備基本構想を策定し、事業を進めていく必要があると考えます。

また、新たな駅ビルにつきましては、運営主体や運営方法、動線、街なかとの繋がり等のソフト面も重要であり、市民にとってより良い施設となるよう、設計段階から十分に検討する必要がありますので、それらの点を踏まえて適切に事業を進めていただきたいと思います。